



## ピロリ菌

多くの日本人がもっているとされている細菌がいるのをご存知ですか？

それはピロリ菌です。

聞いたことはあるけど、どういうものなのかは知らないという人も多いのではないのでしょうか？

日本は胃がんの最多発国で先進国の中でもピロリ菌の感染率が特に高く胃がん発症者の99%がピロリ菌感染者(過去に感染した人も含む)と言われています。

### ピロリ菌って何？

ピロリ菌の正式名称はヘリコバクター・ピロリといいます。

ヘリコとは螺旋(らせん)。バクターはバクテリア(細菌)。ピロリは胃の出口(幽門)をさす「ピロルス」からきています。胃の出口付近から多く見つかることから、「ヘリコバクター・ピロリ」と命名されました。

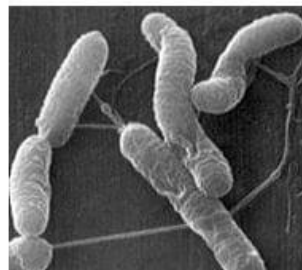
胃の中に入ってきた細菌は通常、胃の強い酸によって殺菌されますが、ピロリ菌は胃の中で生育できます。なぜなら胃の中にある尿素をアンモニアと二酸化炭素に分解し、アンモニアで酸を中和することにより、自分の身の周りの酸を和らげて生きているからです。

### ピロリ菌は悪い菌？いるとどうなるの？

ピロリ菌は胃炎や胃潰瘍、胃がんなどを引き起こす原因菌であることが明らかになっています。

しかし、ピロリ菌に感染したからといって、胃潰瘍や胃がんが必ず発症するわけではありませんが、感染したほとんどの人に胃炎が起こります。除菌しない限り、ピロリ菌は胃の中に住み続け慢性的な炎症が続くことで、胃の粘膜を防御する力が弱まっていきます。

よってストレスや塩分の多い食事、発癌物質などの攻撃を受けやすい無防備な状態となります。そのためピロリ菌がいることで胃がんのリスクが高まります。



ヘリコバクター・ピロリ

### ピロリ菌を見つける方法

ピロリ菌を見つける検査にはいろいろな方法があります。

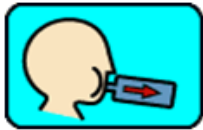
北出病院では、

- 血液検査(ピロリ菌に対する抗体が含まれているかどうかを調べます)
- 内視鏡検査(内視鏡で潰瘍を調べるとともに胃粘膜も採取してピロリ菌を培養して調べます)
- 尿素呼気試験(ピロリ菌が尿素をアンモニアに変える時に二酸化炭素が発生する性質を利用して薬を飲む前と飲んだ後の吐く息を採取して二酸化炭素の量を調べます)

# 尿素呼気試験検査

尿素呼気試験は簡単に行うことができ、検査時間は30分程度です。  
検査薬を飲む前と飲んだ後の呼気を比較してピロリ菌の感染の判定をします。

## 検査の流れ



### 吹く

検査薬服用前に呼気を採取します。



### 飲む

検査薬をつぶしたりせず、空腹時に水100mLとともに嚙まずに速やかに（5秒以内に）嚥下します。※検査薬によっては、服用後直ちにうがいが必要なものもあります。



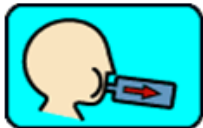
### さそくがい 左側臥位で待つ

5分間左側臥位の姿勢を保ちます。



### ざい 座位で待つ

その後15分間座位の姿勢を保ちます。



### 吹く

検査薬服用20分後の呼気を採取します。

これで検査は終了です。

### 検査をするにあたっての注意点

- ・食後6時間あける。（水は飲んでいただいてもかまいません）
- ・喫煙後2時間あける。
- ・薬の種類によっては服用してしまうと検査が出来ないものもありますので気を付けてください。

ピロリ菌感染がわかれば薬での治療が始まります。薬を飲み続けて、治ったと自己判断で服薬を止めてしまうと再発の原因となりますので、医師の指示に従って服薬してください。

また、自分にあったストレス解消法を見つけ、規則正しい生活、食生活を心がけ、ゆっくり休むことが大切です。



ピロリ菌について詳しく知りたい方は、医師にご相談ください。